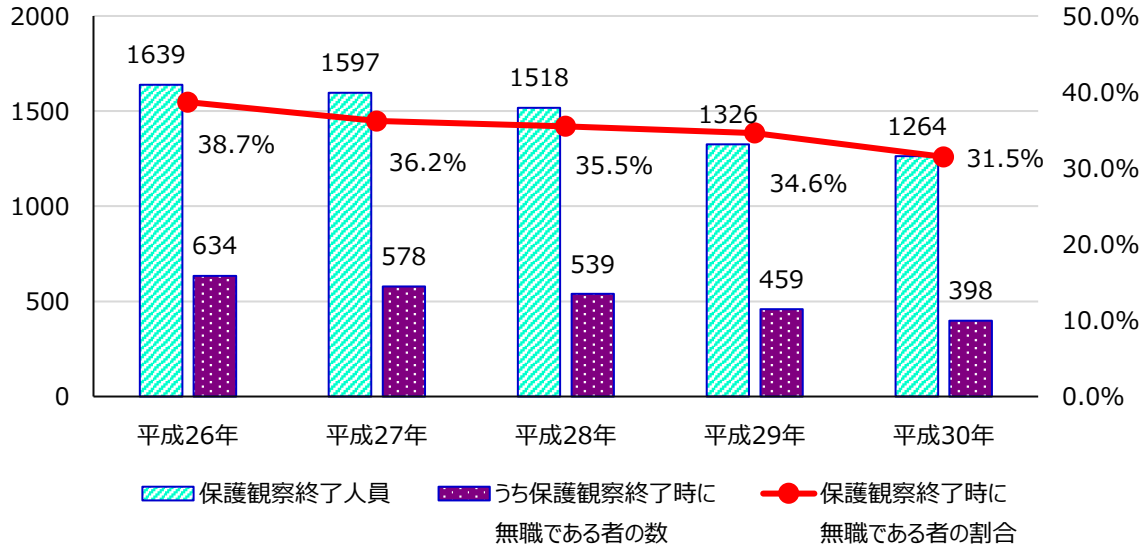


2 更生保護に関する状況

平成30年の大阪保護観察所（注4）における保護観察者1,264人のうち、保護観察（注5）終了時に無職である者の数は398人、割合としては31.5パーセントであった。過去5年間の推移をみると保護観察終了時に無職である者の数、割合ともに毎年減少している。

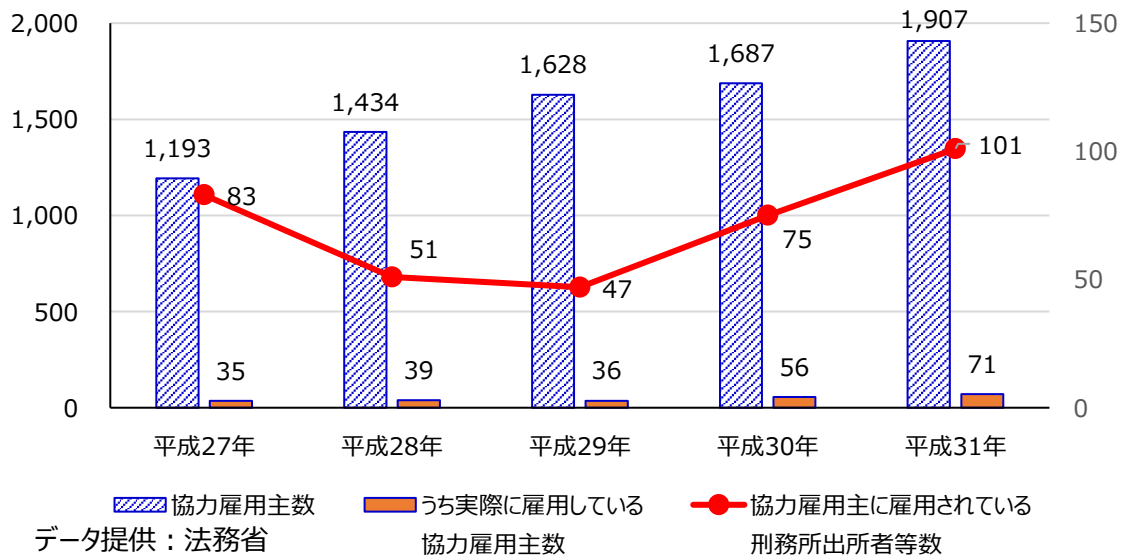
また、大阪府における協力雇用主（注6）の数は毎年増加し続けており、平成31年には1,907となっている。なお、協力雇用主に雇用されている刑務所出所者等の数は一時期減少したものの、29年以降は増加傾向にあり、31年は101人であった。

大阪府において保護観察終了時に無職である者の状況（仮釈放者及び保護観察付全部執行猶予者）



データ提供：法務省

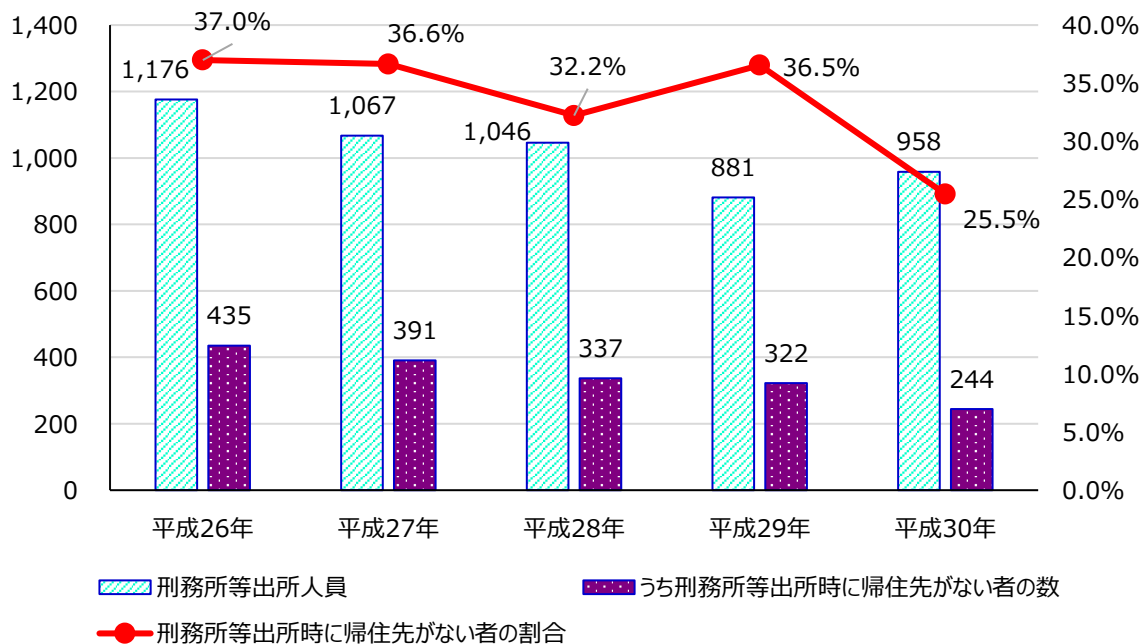
大阪府における協力雇用主数



データ提供：法務省

大阪府下の刑務所（注7）等の刑事施設（注8）出所時に帰住先がなかった者の数について、平成30年は244人で、出所人員958人に占める割合は25.5パーセントであった。過去5年間の推移をみると、出所時に帰住先のない者の数及び割合については減少傾向にある。

大阪府における刑務所等出所時に帰住先がない者の状況



データ提供：法務省